

平成29年度第3回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会会議記録

- 議 題：1 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての法人からの説明および質疑
2 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての評価委員会審議
3 その他

日 時：平成29年8月3日（木）14:57～15:18

場 所：秋田市役所5階 第2委員会室

出席者：【評価委員】鈴木委員、中澤委員、河野委員、佐藤委員、野口委員
【病院法人】小松理事長、秋山事務局長、糟谷次長、間山総務課長、西村施設用度担当課長、川上課長補佐、一関主任、目黒施設用度係長佐藤医事課長、小川課長補佐、伊東経営企画室長、米山主席主査、木山病院建設準備室長、伊藤参事、吹谷看護部長
【事務局】辻福祉保健部長、渡部福祉保健部次長、近藤福祉総務課長、三浦参事、石川主査主査、福田主査

議 事 開 会

事務局

ただいまから、平成29年度第3回「地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会」を開会する。

本日の会議は、全委員が出席であり、地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会条例第6条に規定する定足数を満たしていることを報告する。

議事については鈴木委員長が進行する。

【議事(1)】

地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての法人からの説明および質疑

委員長

それでは、次第にしたがい議事を進行する。

議事(1)の「地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての法人からの説明および質疑」を行う。はじめに前回質問で回答を保留していた連番47の倫理の問題について、倫理委員会で不承認とされた事例はあるのか。また、倫理委員会で承認された53件はどのような内容かについて説明を願う。

法人	28年度の倫理委員会で不承認になった事例はなかった。また、倫理委員会案件については、症例の少ない治療法等の有効性を検証するための臨床研究が主な案件であるが、28年度より倫理的には問題はないものの、学会発表等の要件に倫理委員会審査を経ることとされている案件について、倫理委員会で審査することとしたため、案件が多くなっている。なお、先端的な医療等、医療倫理的に微妙なものの案件の審査はなかった。
委員長	ただいまの説明に対して質問はあるか。 【質疑なし】
委員長	ただいまの説明以外について質問はあるか。 【質疑なし】
委員長	次に財務諸表等について、前回の質問で回答を保留していた貸倒損失の内容について法人から説明を願う。
法人	前回の委員会質疑において、「当年度分として発生した債権について、当年度で貸倒れが起きたものが約160万円あった」との回答をしたが、債権処理ではなかったため訂正願う。なお、貸倒損失の内訳については、所得税預り額177,654円、住民税預り額15,200円、共済預り額1,483,347円である。
委員	そうすると、貸倒引当金の取り崩しをしなかったのはなぜかとの前回の質問への回答はどのようになるのか。
法人	貸倒引当金の計上基準として、債権の貸倒れによる損失に備えるものであるということで、附属明細書には記載されているが、この経費に関しては、貸倒損失で処理すべきとの指摘を踏まえた上での会計処理である旨をお答えした。こちらの、貸倒損失の中身についての解釈の誤りかとは思いますが、質問に対しての答えとしては、前回の回答と変更はない。
委員	今回の貸倒損失の計上に関しては、債権の取り崩しではなく、預り金の不足額の費用処理分を表示したものであり、債権の貸倒れには該当しなかったということか。
法人	そのとおりである。

委員 連番19の患者サービスの向上について、患者の待ち時間について行っている測定は、受付から診察を開始するまでになっているが、診察が終わってから実際に会計を終了するまでの測定は行っていないのか。

法人 平成28年度の個別評価作成時には集計はしていなかったが、改めて集計を行ったところ、受付時刻から会計終了時刻までの平均時間は、予約患者の場合は1時間44分であった。会計待ち時の時間は以前計測したところ、数分程度であった。

委員 そうすると、1時間44分から1時間6分を引いた時間が会計待ち時間となるのか。

法人 会計待ち時間と診察時間となる。

委員 診察が終了した後は数分間で会計が終わっているのであれば優秀と思われる。

委員長 他に項目全体、財務諸表を含めて質問はあるか。

【質疑なし】

委員長 それでは他に質問がないようなので、質疑を終了する。以降は評価委員での審議とする。
(病院法人関係者は退出)

【議事(2)】 地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての評価委員審議

委員長 それでは、議事(2)「地方独立行政法人市立秋田総合病院平成28年度業務実績、財務諸表等についての評価委員会審議」を行う。

まずは、アの業務実績についての審議であるが、52項目の5段階評価について、評価委員会としての評価を決定するため、法人の自己評価を参考として、評価が異なる場合に変更する評価とその理由について審議するものである。業務実績評価についての意見は、項目が多いので、全体を3つに区切って進めたい。はじめに、連番1～26について、法人の自己評価に対して意見等はあるか。

【意見なし】

委員長

次に、連番27～37についての意見を願う。

【意見なし】

委員長

最後に、連番38～52についてであるが、はじめに、前回の会議で連番45については、自己評価がⅢであるが、「利用者の利便性を図った結果として自販機の売上げが下がったものであり、利便性向上の結果であるという点は付記してもよいものであり、委員会としての評価をⅣとする。」としていたが、Ⅳとしてよいか。

【異議なし】

委員長

次に、連番47について、自己評価がⅣであるが、「計画どおりコンプライアンス研修を実施したことによる評価であるかもしれないが、看護師による不祥事もあった中で、Ⅳは違和感がある。」との意見などがあり、この項目については、意見を付すとしたうえで、評価については、保留していた。評価について、意見を願う。

委員

Ⅳのままでよいと思う。

委員長

それでは、自己評価のⅣのままとしてよろしいか。

【異議なし】

委員長

それではⅣとする。

その他、全体を通して何か意見はないか。

それでは連番45については自己評価Ⅲに対して委員会の評価はⅣとする。自己評価と異なる部分の評価理由については、事務局で取りまとめのうえ、次回会議での確認とする。

また、次回会議の際に、52項目の評価をふまえた大項目評価および全体評価の事務局案をもとに、ご審議を願う。

次に、イの財務諸表等について、設立団体の長が財務諸表を承認しようとするときは、あらかじめ、評価委員会の意見を聴かな

	<p>ければならないこととされている。財務諸表についてのご意見があればお願いします。</p> <p>【意見なし】</p>
委員長	<p>財務諸表についての審議は今回で終了とし、意見なしとして秋田市長に回答する。</p>
【議事(3)】	<p>その他</p>
委員長	<p>それでは、議事(3)「その他」について何かあるか。</p> <p>【なし】</p>
委員長	<p>では、事務局からお願いします。</p>
事務局	<p>平成29年度第4回評価委員会については、8月24日（木）午後3時から、今回と同じ第2委員会室で開催する。</p> <p>次回は、本日ご審議いただいた52の項目別評価をもとに、大項目評価および全体評価の事務局案をご提示したうえでご審議していただく。</p> <p>今回の議事録については、まとめ次第、電子メールで送付するので、確認を願いたい。</p>
閉 会	
委員長	<p>平成29年度第3回地方独立行政法人市立秋田総合病院評価委員会を終了する。</p>